

# 2021年度 「地域密着型金融推進計画」の進捗状況

～当金庫の取組み事例～

2022年9月

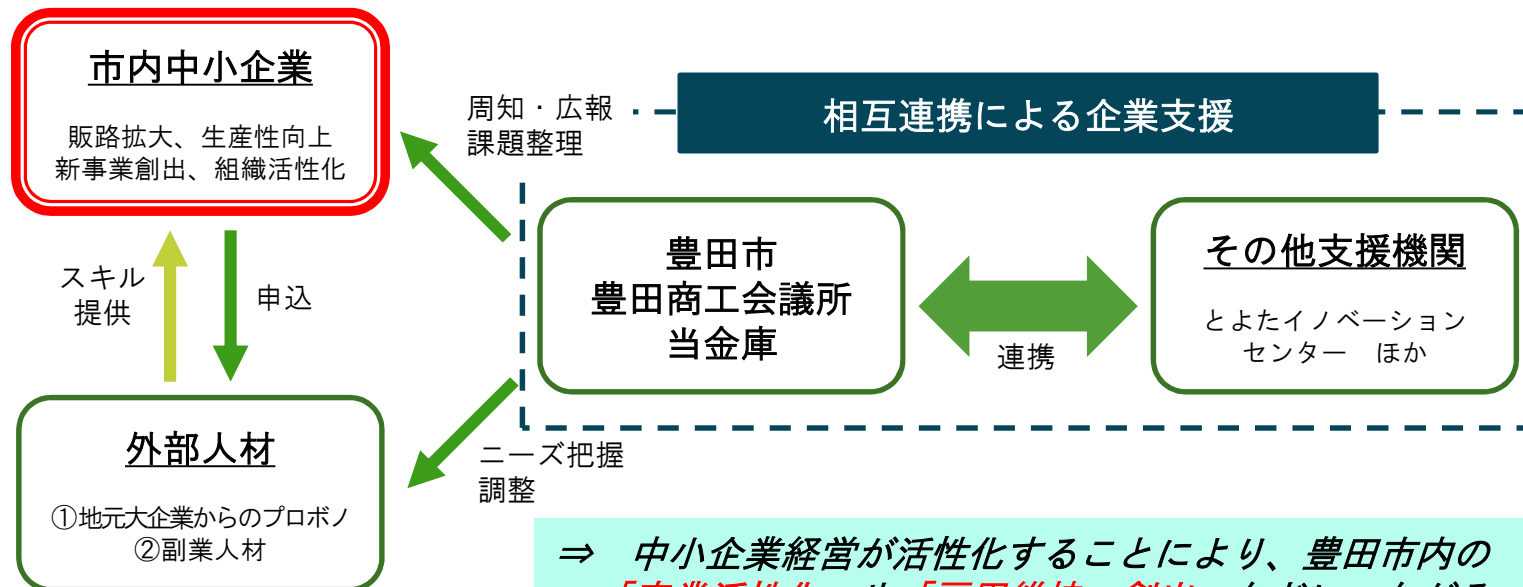


とよしんキャラクター  
フェニころ君

# 1.外部人材マッチング活用による 中小企業経営活性化プロジェクト

- ・当金庫は、豊田市と豊田商工会議所との**包括連携協定事業**として「**副業・兼業等人材と市内中小企業とのマッチング支援業務**」を開始いたしました。
- ・本事業は、副業人材やプロボノ<sup>※</sup>等の外部人材と中小企業のマッチングやプロジェクトの実施を支援することで、コロナ禍における**中小企業の新事業展開を後押し**するとともに、内部人材の挑戦意欲を喚起し、人材育成への取組みや多様な人材が活躍する魅力的な職場としてブランディングに繋げることを目指しています。
- ・当金庫は、①本事業にかかる計画の立案・作成、②プロジェクト参加企業への事業性評価実施による最適な外部人材とのマッチング支援、③本部および営業店職員の個別プロジェクトへの参画、④プロジェクトが終了した中小企業への新たな支援施策の検討・提供によるアフターフォロー等を実施し、サポートしています。

※ プロボノとは、各分野の専門性を持った人材が、知識やスキルを無償提供して社会貢献するボランティア活動のこと。



# ■信金中央金庫地域創生推進スキーム 「SCBふるさと応援団」の活用による豊田市への寄附

- ・当金庫は、信金中央金庫が創設した地域創生スキーム「SCBふるさと応援団」による寄附実施にあたり、**本事業を推薦**いたしました。選考の結果、寄附対象事業として選定され、**豊田市へ地方創生事業の事業費10百万円が寄附**されました。
- ・「SCBふるさと応援団」とは、信用金庫の中央金融機関である信金中央金庫が70周年記念事業として、地方創生税制（企業版ふるさと納税）の仕組み等を活用した地域創生推進スキームです。2020年度から2022年度までの3年間を実施期間とし、寄附金総額2,400百万円を予定しています。SDGsを踏まえ、寄附を通じて地域の課題解決および持続可能な社会の実現に資する地域創生事業を信用金庫とともに応援し、地域経済社会の発展に貢献することを目的としています。



【贈呈式の様子】

(写真右から) 豊田市 太田市長  
信金中央金庫名古屋支店 神野支店長  
豊田信用金庫 藤嶋理事長

## 【寄附概要】

寄附対象事業	外部人材マッチング活用による 中小企業経営活性化プロジェクト
寄附金額	10,000千円
寄附対象地方公共団体	豊田市
寄付者	信金中央金庫
推薦者	豊田信用金庫

とよた   
SDGs   
パートナー



## 2.中国現地商社とのマッチング支援

- ・卸業者A社(資本金4百万円、従業員2名)では、中国製時計模型を米国から輸入していましたが、近年の円安により、採算が悪化していました。そんな中、A社は中国の製造メーカー(B社)を突き止め、**直接B社から輸入をしよう**と交渉したものの、芳しい反応がなかったため当金庫へ相談が持ち込まれました。
- ・当金庫調査の結果、B社は貿易ライセンスを持たず、決済口座も海外から貿易代金を受け取れないことが判明しました。その上で、B社に改めて意向を確認したところ、「人民元建ての国内販売であれば、直接取引も可能。」との回答が得られました。
- ・そこで、**当金庫は信金中央金庫と連携**し、B社所在地近くに現地法人を持つ国内商社C社(他金庫取引先)の紹介を受け、C社の中国現地法人を経由してA社に輸出することへの**対応可能性を打診**、見積もりを入手しました。
- ・入手した見積もりの条件をA社に提示し、**交渉を側面支援したところ合意**に至ったため、その後、契約内容の確認や信用調査、通関物流業者の紹介、決済外貨の送金等の**フォローアップ支援**を行いました。結果として、円安による為替差損を大幅に上回るコストダウンの実現に貢献することができました。

